

「朗読の森」の

お申込用QRコード



朗読会

小川未明 3つの短編集
おがわ みめい

観覧
無料

2022年6月26日(日)14:00開催

今回は人気作家小川未明さんの作品から短編3作品をご紹介します
日常でよく使う物がカギとなるファンタジーの世界をお楽しみください。

～朗読作品紹介～

『月夜と眼鏡』 作：小川未明

ある満月の晩、窓辺で針仕事をするお婆さんは眼が悪く針に糸を通すのに難儀していました。通りすがりの眼鏡売りがやってきて、ちょうどよかったとお婆さんは、その眼鏡を買いました。しばらくすると今度は若い娘がやって来ました。仕事帰りに怪我をしたと言う娘に、傷口を見てあげようと眼鏡をかけたお婆さんそこで見えた不思議なものは・・・

『千代紙の春』 作：小川未明

ある町外れの橋のもと、お婆さんは鯉売りのお爺さんと出会いました。お爺さんは鯉を見せようが持ち上げますが、鯉は跳ねて川へ逃げて行きました。それでも縁起が良いとお婆さんはその代金を払いました。お爺さんはお礼と共に千代紙をくれました。そして千代紙を手にしたお婆さんは・・・

『野ばら』 作：小川未明

その昔、隣り合う二つの国がありました。大きな国は老人の、少し小さな国は青年の兵士が山奥の国境の石碑両側で守っておりました。麗らかな春の日は長く、国境線に生い茂る野ばらは美しい花を咲かせておりました。いつしか二人は打ち解けあい、季節は廻る。そして、ある日始まった両国間の戦争で敵同士になった二人は・・・

イベント詳細

場所 しのぎ文化プラザ 3階講義室

日時 2022年6月26日(日)
14:00～15:00(予定)

出演 岡崎ちか子、福谷紀美子
嶋垣泉、千種佐智子

定員 40名(先着順)
※小学生以上対象

申込 6月2日(木)14:00よりお電話にて
電話：03-3676-9071
※インターネットでもお申込み頂けます。(上部QRコードより)

小学生は保護者同伴

主催 しのぎ文化プラザ

「朗読の森」の

朗読会

小川未明 3つの短編集

観覧
無料

2022年
6月26日(日)開催

～出演者紹介～

おかざき

岡崎 ちか子 (朗読の森・主宰)



千葉県市川市在住。演劇、ミュージカル、即興演劇を中心に活動。各種専門学校、声優養成所等の演技講師、フィットネスクラブ等(ボイス・アクト、ストレッチ)講師。2004年より「朗読の森」主宰。即興演劇を取り入れた朗読講座は老若男女楽しめる。江戸川区を中心に図書館、学校、イベント等、地域密着の公演は人気が高い。

ふくたに きみこ
福谷 紀美子



大阪府出身、江戸川区在住。朗読の森、現メンバーの最古参。会社勤務の傍ら、即興演劇(インプロ)と出会いパフォーマンス活動開始。朗読表現だけではなく、即興演奏、音楽制作も積極的に行う。

しまがき いずみ

嶋垣 泉



三重県出身、江戸川区在住。声優養成所卒業後、テレビ、映画、ラジオ等出演とともに朗読の森のメンバーとして活動、講師アシスタントも行う。個性的なキャラクターは、老若男女どんな役でも演じる元気印。主な出演、テレビ「世界ナゼそこに?」「壮絶! 芸能人闘病記」、映画「感染列島」。

ちぐさ さちこ
千種 佐智子



江戸川区在住。会社勤務の傍ら、朗読の森の活動に参加。幹事としてメンバーのとりまとめ役。朗読公演では衣装の和装着付けも担当。読書好きで図書館の常連であるだけでなく、アウトドアの趣味も本格的、登山やサイクリングとアクティブに活動。

作者紹介

小川 未明 おがわ みめい
1882年4月7日-1961年5月11日

小説家・児童文学作家、本名は小川 健作。日本のアンデルセン」「日本児童文学の父」と呼ばれ浜田広介と坪田譲治と並んで児童文学界の三種の神器」と評された。娘の岡上鈴江も児童文学者。「未明」という雅号は小川の師である坪内逍遙が付けたもので、正しくは「びめい」と読む。

※Wikipedia より抜粋

朗読の森プロフィール

朗読の森は江戸川区を中心に活動しています。朗読、朗読劇、インプロ(即興演劇)を楽しく学びながら学校、図書館、劇場公演、そしてワークショップ開催等、多岐にわたり活動。子供から大人まで様々な作品の楽しさを伝えています。現在コロナ対策を万全にマスク着用と少人数制のクラスを実施中。

しのざき
文化プラザ

都営新宿線・篠崎駅西口直結

開館時間/9:00~21:30

江戸川区篠崎町7-20-19 3階 TEL.03-3676-9071(代)

www.shinozaki-bunkaplaza.com

主催:しのざき文化プラザ

